

広 報 誌

# 小郡市消防団



2015.11.9 発行 第22号

■発行責任者／小郡市消防団 団長 田中保夫  
■発行／小郡市消防団 広報委員会

## 無防備な 心に火災が かくれんぼ

平成27年度 全国統一防火標語

※小郡市消防団では、秋季全国火災予防運動実施期間に合わせ、11月9日付けで広報誌を発行しております。



ボートによる救助訓練

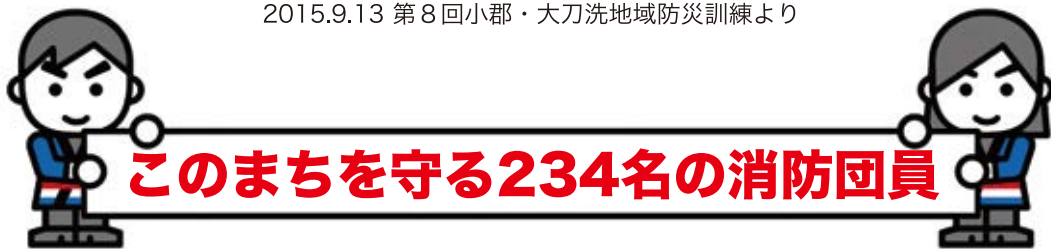


消火訓練



倒壊家屋からの救出訓練

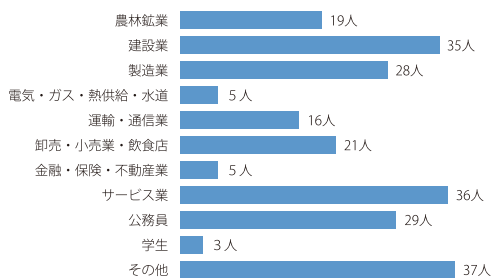
2015.9.13 第8回小郡・大刀洗地域防災訓練より



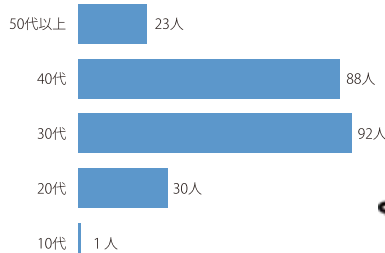
## このまちを守る234名の消防団員

消防団員は、普段それぞれの仕事をもちながら火災や水害時に自宅や職場からかけつけて消火活動・救助活動を行います。また様々な災害に備え、定期的に訓練を行っています。

### 消防団員の職種



### 消防団員の年齢構成



消防団員の職種は様々です。年齢層は30代～40代が中心です。



※データは2015.10.1現在のものです

# 消防団日誌 火災編



これから、  
災害時の活動を  
紹介します。

## 16:00 火災発生

サイレンまたは各団員へのメールで火災発生が伝えられます。  
メールには「〇〇小学校 西側」など住所や目標の場所が記載されています。

火災発生!



## 16:05 格納庫集合

出動できる団員は、自宅や職場などから一旦所属する分団の格納庫に向かいます。  
火災活動用の団服を上から羽織り、編上靴、ヘルメットを装着します。



基本的に格納庫に三人集まった時点で消防ポンプ車で出動します。

## 16:10 現場急行

各分団の消防ポンプ車に乗り、現場へ出動します。  
乗れなかった団員は、各自で現場に向かいます。  
現場に向かう途中、消防ポンプ車に搭載している  
水利の位置を記載した地図を見ながら、水利を確認します。



現場周辺の川、消火栓、防火水槽などの  
水源のことを水利と言います。

## 16:15 現場到着・消火活動

近くの消火栓または防火水槽から水利を確保したら  
消防ポンプ車に水を送り消火をします。



ここからは臨機応変。放水、交通整理、伝令…。  
様々な指示が飛ぶので、それに合わせて動きます。

## 16:55 鎮圧・撤収

現場指揮本部が火が消えたと判断すると、鎮圧したと無線とメールで一斉に伝えられます。  
放水を中断し、しばらく様子を見ます。出動した人員が揃っていることを確認したのち、撤収します。  
この際、使用した防火水槽に給水し、次の活動に備えておきます。  
火災の起きた地区の分団は、残火処理として現場に残り、再び発火しないように監視にあたります。



小郡市では、小学校の校区ごとに担当する分団が分かれています。



一度消えたように見えても、燃えた柱の中等で火がくすぶっていて  
再度燃え上がる可能性もあります。これを残火と言います。

## 18:00 後片付け・準備

撤収後、格納庫に戻って使用したホースを洗い、消防ポンプ車を点検し、ホースの補充などいつでも出動  
できる準備をして、解散します。

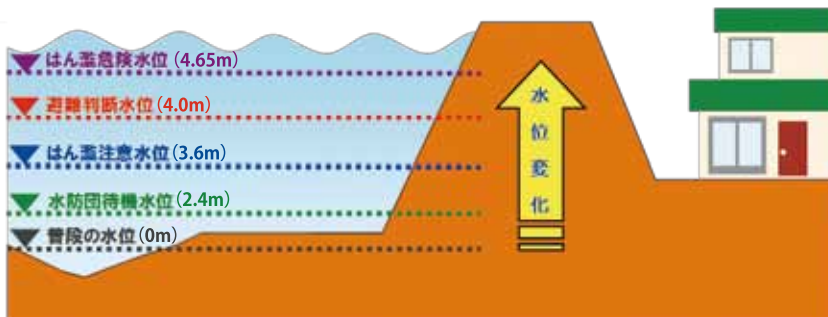
# 消防団日誌 水害編

## 12:00 格納庫集合

大雨で宝満川が増水し、水防団待機水位を越えた時、団員に招集がかかり格納庫で待機します。



宝満川の水位は、新端間橋付近の観測所で計測しています。



▲端間水位観測所

## 12:30 管内巡回

各分団は冠水しやすい場所を中心に管轄内を巡回します。避難所が開設された場合、同時に避難所の開設を知らせる広報活動を行います。



※宝満川が増水した様子

## 13:30 道路冠水

冠水した道路に、団員を配置し交通整理を行います。



冠水しやすい場所に車を止めていたら、周りが水につかり出られなくなった事例もあります。



※道路が冠水した様子

## 16:00 撤収

宝満川、冠水地域から水がひいたら撤収します。

## 水防訓練の様子

### 改良積み土のう工法



改良積み土のう工法とは、積んだ土のうをブルーシートなどで包むことで浸水・越水を防止する工法です。アスファルトやコンクリートなど、杭で土のうを固定できない場所で有効です。

### ボート組み立て訓練



大規模な水害などの際に孤立した住民の救出を行うため、平成24年にゴムボート3艇とFRP製ボート3艇が配備されました。いざという時に迅速に組み立て、救出活動を行えるよう訓練を行っています。



## 第2回 福岡県女性消防操法大会に出場

9月6日(日)、福津市の福岡県消防学校で行われた、福岡県女性消防操法大会に、女性団員のみで構成した本部分団が出場しました。

多くの歓声の中で、約2か月にわたる訓練の成果を発揮し、1番員の門司直美選手が優秀番員賞を受賞しました。

みなさまの応援に、とても感謝しております。ありがとうございました。



### 大規模災害への対応を意識した消防団活動へ

大都市の消防団では、阪神・淡路大震災や東日本大震災の経験から、常備消防との役割分担も念頭に置いた上で、「大規模災害を想定した防災訓練」を意識した活動に取り組んでいます。

大規模災害の発生のおそれは、大都市部に限られません。小郡市消防団においても大規模災害への対応を意識するとともに、今後も三井消防署と連携を図りながら消防・防災活動を進めていきます。

## 消防団員募集!



自分たちのまちは  
自分たちで守ろう!



まずはお問い合わせ下さい。

問合せ先 小郡市役所 協働推進課 ☎0942-72-2111(内線253)

小郡市消防団のホームページを開設しました

小郡市消防団

検索

